

新人・若手を対象に大規模工場研修を実施 ～ 群馬局の同期も参加し交流もできました ～

令和4年4月採用の新任労働基準監督官と若手監督官を対象に、4月中旬に日産自動車(株)栃木工場の協力を得て、大規模工場の研修を実施しました。

自動車部品の鋳造作業、クレーン作業、ラインによる電気自動車の組立作業などを見学し、最後に危険体感型訓練を受講しました。

労働災害を防止することの意義や難しさを肌で感じることはできたのではないのでしょうか。

今回の研修では、お隣の群馬局の新任労働基準監督官も参加しました。

初めて栃木局以外の同期と会い、交流することができました。



日産自動車の担当者の方から説明を受ける監督官たち。

熔解・鋳造作業の説明を受ける監督官たち。

熔解した金属が運ばれ、型に流し込まれる様子を見学しました。



クレーン作業の説明を受ける監督官たち。

マグネットの吊り具で金属が運ばれている様子を間近で見学しました。





最新式の電気自動車の組立ラインを見学しました。
非常にキレイな工場でした。

危険体感型訓練を受講しました。
転倒災害の体験や腰痛防止のための体験など、様々な訓練を受講しました。



どっちが重いと思いますか？
先入観は事故のもとです。



群馬県の同期と記念撮影（新監たち）



また会おう。